



(最新の患者情報)

発生動向等サーベイランス情報

年末年始、体調不良に備えましょう～急な発熱に慌てないために～

冬季はインフルエンザ等の感染症が流行します。特に年末年始は医療機関や救急医療がひっ迫し、受診や救急搬送が困難となる可能性がありますので、事前に備えておきましょう。

★施設における感染対策の徹底

高齢者等の重症化リスクの高い方が多く利用する施設においては、施設内に病原体が持ち込まれないようにすることが重要です。

- ・利用者及び従事者の健康管理
- ・利用者及び従事者へのワクチン接種、一般的な予防対策
- ・適切な個人防護具の着用、室内換気等

施設における感染防止対策▶
(厚生労働省HP)



★患者が出た場合の相談先の確認

施設内で体調不良者が出了た場合は、嘱託医・協力医療機関へ相談しましょう。事前に連絡先を確認しておくことが重要です。

★事前のシミュレーション

施設内で感染を拡大させないため、「患者が出た時」ではなく、普段から患者が出た場合のシミュレーションをしておきましょう。

感染対策のポイント

シリーズ18:検査「陰性」だから大丈夫?

発熱で医療機関を受診すると、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの検査が行われることも多いと思います。施設入居者では、これらの検査が「陰性」と出ると一安心する方もいらっしゃるのではないか。これらの検査が「陰性」の場合には、以下の3つに注意が必要です。一つ目は、検査の「偽陰性」。本当は感染しているのに、検査のタイミングなどの理由でうまく陽性にならなかった例です。二つ目はコロナやインフルエンザ以外の流行性の感染症が原因となっている場合。上記2つ以外の感染症でも、施設内流行するものはたくさんあります。三つ目は、現時点で診断できない重篤な病気が隠れている例。症状の悪化とともに、原因が明らかになってくる細菌感染症も多くあります。いずれもコロナ・インフルエンザ検査が「陰性」だからといって油断してはいけません。

感染症専門家からのアドバイス



発熱をいち早く察知するためにも、朝の検温だけでなく、急にだるそうにしていたり、寒気や頭痛、関節の痛み、腰痛、など、発熱時に起こる様々な訴えを見逃さないように注意深く観察しましょう。